

山武市子ども・子育て会議（第1回）要旨

日時：平成25年12月5日（木）午後1時30分～

場所：山武市役所（新館3階）第4会議室

〈司会進行：事務局〉

1. 開 会
2. あいさつ 副市長より
3. 委員委嘱 副市長より代表委員へ委嘱状交付
4. 委員の紹介 保健福祉部長より各委員紹介
5. 会長及び副会長の選出
委員より事務局（案）を求められる。会長、副会長（案）について委員会へ諮ったところ、承認決定となる。

〈議事進行：会長〉

6. 議題
 - (1) 子ども・子育て支援新制度について
事務局より説明。国はこれまでも様々な少子化対策を推進してきたが、人口減少社会とさらなる少子化の進行、待機児童問題や地域の子育て力の低下から抜本的な制度改革が求められ平成27年4月から新制度へ移行する。新制度の狙いは、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供を目途とし、国は幼稚園と保育所の良さを併せ持つ認定こども園の普及を進めるとしている。2つめとして、保育の量的拡大確保。国は待機児童を解消するため、保育の受入れ人数を増やし、また子どもが減る傾向にある地域の保育を支援する。3つめは、地域の子ども・子育て支援の充実。国は地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させることを進め、市は実施主体とされているので子ども・子育て支援事業計画を策定し、これに沿って取り組んでいくこととなる。計画策定にあたり今年度、ニーズ調査を実施することとなる。
 - (2) ニーズ調査の実施について
子ども・子育て支援事業計画策定のためニーズ調査を実施する。就学前児童：1,640世帯、小学生：約1,360世帯を対象。事前に配布した調査票の内容について委員へ諮る。調査票の配布期間が短いため、概ね当内容でご承認願いたい。修正できる場所は修正検討する。委員からの意見はつぎのとおり。
 - 問33、34（就学前用）の設問は、複数回答（上限5つ）となっているが、回答数は制限しない方がよいのではないか。
 - 問34（就学前用）で「子育て支援策」というと難しく感じる。「子育て支援」とするとわかりやすい。

- 問 33（就学前用）の「課題と思われるもの」は、何で課題と思うかが大切ではないか。選択肢だけでは、何が課題なのかわからない。
- 問 11-3（就学前用）の設問「現在困っていることがありましたら、ご記憶ください」は、選択事例を記載したほうがよいのではないか。何を書いたらよいのか難しい。
- 問 7（就学前用）の選択肢に 1. 母親 2. 父親があり、さらに 7. 単身赴任中（父または母）とあるが、わかりづらい。
- 問 7 と 問 8（就学前用）の選択肢の祖父、祖母は違うのか。設問の文意が読み取りにくい。父方、母方、同居かを明確に示してあげた方がよいのではないか。
- 問 33（就学前用）の選択肢 19. その他に（ ）があった方がよい。
- 問 7（小学生用）の選択肢に学校を入れた方がよい。

（3）山武市の現状について

事務局より説明。少子化、核家族化、共働き化が進む中、山武市では早くから学童保育事業、こども園化を進めてきた。現在、学童クラブは市内全小学校で実施し、公立のこども園が 5 園、開設している状況である。

Q 委員

新しくできたこども園（なるとう、しらはたこども園）は、規模がかなり大きな施設となってこの 4 月開園したが、その中で問題点や気付いたことはあるか。

A 事務局

開園して半年以上が経った。当初、若干の違和感が親子ともにみられた。幼稚園で育った子の保護者と保育所で育った子の保護者なので仕方ないかもしれない。しかし、新しく出発し、いい園にしていこうという気持ちが徐々に溶け合って、現在、大きな問題もなく運営しているところである。保護者間の協力あるいは子ども達の交流のヒント、子ども達がたくさんいて、そのまま小学校へあがっていけるというような良い面がみられる。今後、園の活動が更に充実していくものと思われる。

7. その他

（1）今後のスケジュール

ニーズ調査については、検討いただいたことを踏まえ修正を行い、スケジュールに従って進めていきたい。予定として 1 月末には、まとめなくてはいけないので、タイトなスケジュールとなるが、まとまり次第お諮りすることになる。今後、3 月までにあと 2 回ほど会議を開催予定なので、よろしく願いたい。

8. 閉 会